

平成 30 年度 事業計画

平成 30 年度は、第 3 期指定管理期間（平成 28 年度～平成 32 年度）の 3 年目となります。第 3 期の指定管理者の応募の際に提出した 5 年間の事業計画書に基づき、今年度も年次毎の事業計画を作成し、着実に実施してまいります。また、第 3 期は、新たなパートナーである株式会社 J T B コミュニケーションデザインと共同事業体を構成して事業を進めており、平成 30 年度も J T B コミュニケーションデザインの支援を受け、施設の新たな魅力向上や集客向上に向けた施策を市と協議しながら積極的に推進します。

帆船日本丸は、長期にわたる船員教育や我が国の海運業の発展に貢献したこと及び日本国内に現存する希少な「リベット構造」を持ち、国内開発された船用大型ディーゼルエンジンを搭載するなど貴重な海事遺産であることなどが評価され、昨年 9 月 15 日には国の重要文化財に指定されました。今後、市と協力して文化財の価値を保全しつつ、総帆展帆、海洋教室など帆船日本丸を活用した事業も積極的に推進します。

7 月 17 日(月)海の日に、天皇皇后両陛下の帆船日本丸と横浜みなと博物館への行幸啓がありました。

また、帆船日本丸は船齢 88 年を迎え船体の劣化が進んでいるため、平成 30 年度から 2 か年の計画で、横浜市が国の補助金を導入して大規模な修繕工事を行います。その経費の一部に充当するため、市や横浜商工会議所と連携した募金活動を進めます。

横浜みなと博物館では、常設展示の魅力アップを図るとともに、7 月には「客船ノルマンディー展」（仮称）を、10 月には「絵本で楽しむ 海と船」（仮称）等の企画展を開催します。

また、横浜市が横浜みなと博物館内に 3 月 27 日に開設する常設の「柳原良平アートミュージアム」の P R を積極的に行うなど、集客アップに向けた取組を進めます。ミュージアムショップでは柳原良平コーナーを設置し、柳原良平グッズの販売に取り組みます。

日本丸メモリアルパークでは、アリーナでの音楽イベントをはじめ、横浜市や企業、団体、N P O 等と連携したイベント等を開催します。

みなとみらい 2 1 地区という賑わいエリアの特性を踏まえ、多様な主体と連携した事業に取り組み、帆船日本丸と横浜みなと博物館、日本丸メモリアルパークの一体的な運営管理を行い、賑わいづくりと集客増・収入増を図ります。

1 事業運営の方針

(1) 年次計画の目標

目標は、横浜市との「平成 30 年度協約」の目標と同じく、帆船日本丸及び横浜みなと博物館の有料入場数 8.3 万人（対前年比 1.9%増）、日本丸メモリアルパーク利用者数 142 万人（対前年比 3.0%増）、来校数 625 校（対前年比 2.5%増）とします。また、お客様満足度 97%以上を目指します。

(2) 利用者の拡大と一層のサービスの向上

お客様に気持ち良くご利用いただくために、おもてなしの心で常に改善を行い、サービスの向上に取り組みます。利用者ニーズを的確に把握した取り組みを展開するとともに、引き続き来場者の増加が期待される、学生団体と訪日外国人に向けたキャンペーンやサービス向上策を講じます。

施設運営の大きな特徴である、登録人数計 2,300 人を超えるボランティアとの協力体制を引き続き充実させます。

また、JTBグループのノウハウを活用し、施設の魅力向上に向けたデータ収集や分析を行い、新たなプロモーション施策とサービスを提供します。

(3) 安全・安心して利用できる施設管理

日頃からパーク内を巡回し、子どもや高齢者、障がい者にも安心して利用していただけるよう施設管理を行います。また、地震や津波、風水害等の発生時には、お客様の安全を第一にした避難誘導を行うなど必要な措置を迅速に講じます。

訓練センターは、災害時における帰宅困難者一時滞在施設としての役割も、新たに果たしていきます。

(4) 料金体系の見直し

利用実績やイベント実施、繁忙日等を考慮しながら、適宜キャンペーン料金を設定するなど柔軟な料金体系を設定します。お客様のニーズに応え、帆船日本丸・横浜みなと博物館のどちらか 1 つの施設を見学できる単館券の発行を継続します。また、高校生料金は小中学生と同じ料金帯の設定で継続します。

小・中・高校生料金が従来無料であった毎週土曜日については、100 円の特別料金の設定を行っており引き続き実施します。この料金収入は、子どもたちの社会貢献活動の一つとして周知し、帆船日本丸進水 100 年に向けた保存事業に使用します。

2 帆船日本丸事業

帆船日本丸は昨年、国の重要文化財指定を受け、今年、船齢 88 歳を迎えました。船体及び船内の美観保持に努めるべく、日々整備を行っております。しかし、船体強度を保つための構造部材である外板、フレーム並びに帆走艀装、木甲板など各所の老朽化が進み、早急の処置が必要となってきたことも事実です。

今年度計画されている大規模修繕時に行うべき工事や修繕の方法について検討し、横浜市に最善の提案を致します。また、今年度実施される定期検査合格にむけた整備を計画的に実施していきます。さらに、帆船日本丸の重要文化財指定に伴い、今後の帆船日本丸の保存・活用方法について横浜市と協力し、検討を行います。

帆船日本丸を活用して、市民の皆様を始めとした一般の方々の参加・体験型事業展開を図ることにより、帆船日本丸事業について、より理解をしていただけるよう努めます。

(1) 保存事業

帆船日本丸を良好な状態で保存するために次の整備を行います。

ア 日常保守点検

- (ア) 観覧者通路及び公開区域の安全点検・整備
- (イ) 船内及び甲板清掃、船内真鍮磨き
- (ウ) マスト、ヤード及びその他帆装艀装の定期的な点検整備並びにセイルの作製等

イ 年次船体整備

- (ア) 定期検査受検工事、木甲板及び木艀装品一部新替
- (イ) 動索の点検整備等
- (ウ) フォアマストのロイヤルヤード更新

ウ 災害防止

- (ア) 観覧者、総帆展帆協力者及び甲板整備協力者の安全確保
- (イ) 船内防災センターにおける、火災や地震等の災害対策及び不法侵入者の防止に備えた 24 時間体制の監視を実施

(2) 公開事業

今年度実施が検討されている大規模修繕工事の工期に伴い、船内を年間 240 から 290 日程度一般公開します。さらに今年度は船内展示室の展示内容を定期的に更新し、これまで公開されていなかった、重要文化財附、日本丸主機関部品、航海用具等を展示することにより、リピーター来場者の確保を図ります。

現在お客様から大好評の船内案内ガイドについて、現役時代の日本丸に乗船経験があるガイドボランティアによる無料ガイドサービスを引き続き実施します。

展帆ボランティアの協力による総帆展帆を始め、祝日に実施する満船飾や毎晩点灯しているイルミネーションは、みなとみらい地区を訪れる皆様に、帆船日本丸の美しい姿をご覧ください絶好の機会であると考えます。今年度も天候の許す限り、安全に留意し、実施致します。また、昨年引き続き、特別見学会（未公開ゾーン

の見学会及び修繕工事見学会並びに船長トーク付の見学会)の開催に取り組み、帆船日本丸の魅力を多くの皆様に伝え、観覧者の誘致に努めます。

(3) 青少年錬成事業等

帆船日本丸は、青少年が船上訓練等通じて、海・船・港に関する知識を学ぶための教育施設です。また、団体生活をするにより、強い心と体を培う施設でもあります。帆船日本丸及び訓練センターを活用して、青少年錬成のための「海洋教室」や海洋教育としての「船の講座」を開催し、海事思想の普及に努めます。加えて、夏季に、小学生向けの自由研究教室を行います。

(4) その他

- ア 横浜市が行う帆船日本丸大規模修繕に向けた検討協力
 - (ア) 工事箇所、工事方法の調査検討への協力
 - (イ) 仕様書作成への協力
 - (ウ) 工事期間中の公開事業の計画実施
- イ 保存活用計画作成に向けた検討協力
- ウ 日本丸重要文化財指定に伴う関連資料整理保管

3 横浜みなと博物館事業

新たに設置する「柳原良平アートミュージアム」を中心に、横浜みなと博物館の魅力の発信力を強化し、当館ならではの企画展等を実施するとともに、既存の事業の一層の充実を図り、魅力的な博物館づくりと新しいファンの獲得を目指します。

「柳原良平アートミュージアム」は、平成28年3月に横浜市に御遺族から寄贈いただいた柳原良平作品を紹介常設展示するもので、3月27日(火)に常設展示室中地下1階にオープンします。イラストレーションや油彩画など、横浜と船・港・海をこよなく愛した柳原良平の作品のすばらしさを、博物館の新たな魅力として位置づけるとともに、日本唯一の柳原良平の常設展示施設として、大きくアピールしてまいります。

また、市民ボランティアとともに、展示や教育普及、アウトリーチ活動を通して、多くの人が海や港、船に親しみ、興味をもつことができるように、体験的な教育プログラムを実施します。

そして、こどもから大人、ファミリーまでが楽しめる博物館づくりに努め、リピーターと新しい入館者の増加を図ります。

(1) 常設展示事業

常設展示をより、楽しんでいただくために、市民の展示案内ボランティアによる展示の案内、説明を毎日実施し、入館者の満足度向上とリピーターの確保に努めます。また、28年度から始めた「館長トーク」や「学芸員のワンポイント展示解説」を引き続き

実施して、展示内容の理解をより深めていただき、展示の魅力アップに努めます。また、調査研究による成果を展示して新しい情報を発信します。

柳原良平アートミュージアムでは、7月と12月展示替えを行い、より多くの作品とその魅力を紹介し、柳原良平ファンの拡大と博物館のリピーターの創出を目指します。



ポスター YOKOHAMA 1981年



ポスター トリスを飲んで Hawaii へ行こう! 1961年

(2) 特別展示事業

6月に「客船ノルマンディー展」(仮称)を実施します。御遺族から寄贈された海事資料収集家故 鈴木五郎氏のコレクションを通して、1930年代に北大西洋航路で活躍したフランスの豪華客船ノルマンディーの建造から、解体までの航跡を振り返ります。

10月には、企画展「絵本でたのしむ 海と船」(仮称)を実施します。周囲を海に囲まれた日本では、海や船を描いた物語絵本や図鑑のような観察絵本が数多く出版され、子どもたちが海や船に親しむきっかけを提供してきました。この企画展では、日本で出版された海・船を描いた絵本とその原画を時代を追って紹介し、子どもたちが絵本を通してどのように海、船に親しんできたのかを明らかにします。

展覧会名	会期
「豪華客船ノルマンディー 大西洋航路最速をめぐして」(仮称)	平成30年6月30日～8月26日
企画展「絵本でたのしむ 海と船」(仮称)	平成30年10月27日～12月16日
柳原良平アートミュージアム特集展示	
「アングルトリス誕生60年」(仮称)	平成30年3月27日～7月8日
「横浜の船と港」(仮称)	平成30年7月16日～12月24日
「宝船と七福神」(仮称)	平成31年1月1日～3月31日

(3) 教育普及事業

春は大人向けのミナト散歩、夏は小学生向けの自由研究教室や船の工作教室、親子の海図教室、秋は大人向けの海図教室、春休みには親子の船の見学会などを行います。入館者向けには、週末土日にリピーター増加のための事業を教育活動ボランティアの協力により行います。土曜日にはこども向けクイズラリーと船の折り紙教室を、日曜日にはファミリー向け事業として好評なペーパークラフト教室、国民の休日にもペーパークラフト教室と折り紙教室を行います。大人向けのクイズラリーも6月と2月に実施します。また、1年間を通して、横浜の海、港、船について学習する小学生向け体験型事業である「横浜みなとキッズクラブ」を実施します。

4 みなとの賑わい創出事業

(1) 水辺の事業

ア シーカヤック体験教室

日本丸メモリアルパークの内水域及び汽船道側水域において、NPO法人横浜シーフレンズと連携しシーカヤック教室を開催します。また、土日や祝日に開催する一般教室や子ども教室、平日教室に加え、リピーター向けに1日ツーリングコース、レスキュートレーニング講習、横浜港満喫ツーリングコースを開設します。

横浜市立大学、横浜国立大学・神奈川大学との連携教室等を開催します。

イ カヌーポロ教室

NPO法人横浜カヌー倶楽部・横浜市カヌー協会と連携し、カヌーポロ教室を子ども向け・大人向けに開催し、青少年育成と競技の普及を目指します。



カヌーポロ教室

(2) パーク利用事業（イベント）

市民交流・リサイクル事業としてのフリーマーケット、吹奏楽演奏会を初めとする音楽イベントなどを定期的で開催します。また、今年で4年目を迎え人気定着した夏のピカチュウイベントや海洋都市横浜うみ協議会のイベントといった横浜市のプロモーションイベントとの連携に取り組みます。また、みなとみらい21さくらフェスタ2018などMM21地区のイベントに積極的に参加するなどし、パークの有効活用を進め、集客増と収入増を図ります。

5 緑地管理及び研修施設事業

(1) 緑地の維持管理・活用

ア 安全管理・美化

劣化・老朽化している箇所を速やかに補修改善するなど安全・安心な施設管理を行います。また、活動開始4年目を迎えるグリーンボランティアの協力を得て、樹木や草花、芝生等を良好に維持管理するとともに、生き物にやさしいバタフライガーデンやバッタの原っぱ、グリーンカーテン等に引き続き取り組みます。また、パーク隣接の歩道に横浜市が設置したみなとみらい 21 まちかど花壇の維持管理にも継続して取り組みます。さらに、美化清掃を実施し、来園者が安全快適に過ごせる空間を提供します。

イ 撮影

製作会社や担当者とのコミュニケーションを密にし、撮影日時への柔軟な対応、控室の提供、相談・受付体制の充実など、多様なニーズに応えていくことで、一層の利用促進を図ります。また、撮影に適した美しい内水域の都市景観を新しい Web サイトで積極的にアピールします。

さらに、撮影履歴などを積極的に公開することで制作会社にアピールするだけでなく一般のお客様の来訪を促します。

(2) 研修施設（訓練センター）の管理運営

駅からのアクセスも良く、リーズナブルで使いやすいという評価を活用し、利用促進を図ります。また、予約開始時期を6か月前からに変更し、Web上での予約状況情報の開示を継続するなど、利用者の利便性向上に努めます。什器類の更新を計画実施することでリピーターを増やして集客増・収入増に繋がります。

6 集客増に向けた主な重点取組

(1) 魅力づくり・集客アップ会議の活用によるプロモーション施策の充実

毎月行っている「魅力づくり集客アップ会議」やワーキンググループを活用し、共同事業体のパートナーである JTB コミュニケーションデザインが持つ施設運営ノウハウを生かしたプロモーション施策を継続して実施します。

従来実施してきたお客様の声（アンケート）の項目を一部見直し、スマートフォンなどで意見集約できるツールを導入しました。この来場者データの収集を図るとともに分析を行い、具体の施策展開に活かしていきます。

またミュージアム・ショップならではの魅力づくりと収入増を図るため、過去の売り上げデータ分析を行い、魅力的な商品陳列、商品開発を図っていきます。

昨年から実施しているイベント時の臨時売店も引き続き開店していきます。

また、JTBグループが持つネットワークやリソースを活かした取組を強化していきます。昨年度から参画している、JTB ユニット企画商品「地恵のたび」を継続し、

横浜中華街「重慶飯店」と連携したプランにより全国から団体誘客を図ります。

(2) 学校団体利用の誘致

学校に向けた各種取組を推進し、来館校数625校の達成を目指します。

- ア 埼玉県や栃木県の小学校の修学旅行や北海道・東北・新潟・中部に加え、北陸の中学校の修学旅行の誘致
- イ 日本修学旅行協会発行の学校向け『月刊教育旅行』への広告掲載による誘客
- ウ 神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県の小中高及び各旅行会社への営業訪問の実施
- エ 神奈川県、東京都、埼玉県、群馬県、栃木県、茨城県、愛知県、青森県、岩手県宮城県、北海道の小中高へのDMの実施（約1万通）
- オ 帆船日本丸船長や航海士による講話の実施

(3) 入館料金の柔軟な対応

単館券の販売動向を見つつ、春休みや夏休み等に家族やグループで気軽に、かつお手ごろな料金で来館していただけるような料金設定を検討・実施します。大人の料金帯であった高校生の料金を小・中・高校生料金として維持し、修学旅行や東京都、神奈川県を中心とした高校生の来館者を増やしていきます。

(4) インバウンド（訪日外国人客）集客増に向けた取組

引き続き増加が見込まれる訪日外国人観光客獲得への取組として、一昨年に導入した「多言語ガイドシステム」や「Facebook」などにより情報発信力を高め、集客に繋げていきます。また、イベントチラシの英語版作成、夏休みの訪日外国人客の多い時期にキャンペーンの継続実施など、訪日外国人向け施策を拡充してまいります。パシフィコ横浜や近隣施設と連携してMM21地区全体での集客を増やす工夫をします。またクルーズ客船の入港増に伴い、横浜コンベンションビューロー等と連携して集客に取り組みます。

(5) 連携イベントによる賑わいの創出

- ア みなとみらい21 さくらフェスタ2018との連携（4月）
- イ 横浜アマチュアコンボバンド連盟主催ジャズイベントの開催（ゴールデンウィーク）
- ウ Beautiful Mother Park 実行委員会主催の子育て支援、女性活躍推進イベント（ゴールデンウィーク）
- エ 横浜開港祭2018との連携（6月）
- オ ピカチュウイベントの継続誘致（8月予定）

(6) Webサイトリニューアル

財団のWebサイトを更新し、スマートフォンでの表示やWebアクセシビリティに対応させ、どなたでも見やすいサイトにします。また、共同事業体を組むJTBコミュニケーションデザインと連携し、「日本丸」のブラン

ド力を高め、Web サイトを集客ツールとして活用できるよう取り組みます。

7 組織運営の質的向上に向けた取組

一人ひとりの職員がいきいきと活躍できるよう引き続き次の取組を進めます。

(1) 風通しの良い職場づくり

管理職会議、職員ミーティングや日常業務での議論を通し、職場でよく話し合う風通しの良い職場運営を行います。

(2) 研修の実施

「コンプライアンス」や「個人情報保護」、「防災・緊急時対応」、「接客対応」、「スキル研修」等の研修を実施し、職員の意識や能力の向上を図ります。

(3) コンプライアンスの順守

研修や朝礼等によりコンプライアンス意識の向上を図ります。また、市職員を含めたコンプライアンス委員会の開催等により、コンプライアンスの順守を徹底します。

8 事業一覧表

(1) 帆船日本丸事業	
帆船日本丸公開	年間 240 日から 290 日の船内一般公開を実施＊ ＊大規模修繕工事の工期未定のため公開予定日数未定 公開日は次の日を除く毎日 月曜日（祝日にあたる時は公開、翌日が休館日） 年末（12月29日から12月31日まで） 船体整備（1月末から2月下旬まで ただし大規模修繕に伴い、期間変更の可能性有） ガイドボランティアによる船内ガイドを実施 「地恵のたび」等、旅行会社と連携した企画見学会の実施
総帆展帆 （実施予定日数 12日）	4月15日（日）・29日（日・祝）、5月13日（日）・27日（日）、6月10日（日）、7月16日（月・祝）、8月19日（日）、9月2日（日）・23日（日・祝）、10月8日（月・祝）・28日（日）、11月1日（日） 市民ボランティアの協力により実施
親子展帆 （実施予定日数 6日・計12回）	4月29日（日・祝）、5月5日（土・祝）・13日（日）、7月16日（月・祝）、9月2日（日）、11月11日（日）
満船飾 （実施予定日数 16日）	4月29日（日・祝）、5月3日（木・祝）・4日（金・祝）・5日（土・祝）、6月2日（土・開港祭） 7月16日（月・祝）、8月11日（土曜・祝）、9月17日（月・祝）・23日（日・祝）、10月8日（月・祝）、11月3日（土・祝）・23日（金・祝）、12月23日（日・祝）、1月7日（月・祝）・27日（日・進水記念日）、3月21日（木・祝） ただし工事期間中は工事内容によって中止
海洋教室	半日・1日コース（募集予定人数 250人） （小学校高学年海洋教室 7月24日、親子海洋教室 8月5日、自由研究海洋教室 8月1日～4日を含み、マリンスクール4回合計約 700人を除く） 宿泊コース（募集予定人数 900人） （マリンスクール4回合計約 400人を含む）
教育普及事業	大人向け船の講座 日本丸のリベット構造 6月24日（日） 重要文化財日本丸の附公開と資料説明会 11月4日（日） 未公開ゾーン特別見学会 ＊ （大規模修繕工事に伴い未定） 修繕工事見学会 2月3日（日） ＊ 子供向け船の講座 夏休み特別講座（高度と方位の測り方） 8月29日（日） 新春お年玉付き船内探検 ＊ ＊大規模修繕工事未定のため実施日を含め未定

(2) 横浜みなと博物館事業	
常設展示事業	<p>次の日を除く毎日公開</p> <p>月曜日（祝日にあたる時は公開、翌日が休館日）</p> <p>年末（12月29日から12月31日まで）</p> <p>収蔵庫・書庫燻蒸期間（1月28日～2月1日）</p>
展示案内	展示案内ボランティアによる常設展示の説明（登録ボランティア33人）
特別展示事業	<p><u>「豪華客船ノルマンディー 大西洋の最速をめざして」(仮称)</u></p> <p>会期 6月30日(土)～8月26日(日)</p> <p>記念講演会8月、フロアガイド7～8月</p> <p><u>企画展「絵本でたのしむ 海と船」(仮称)</u></p> <p>会期 10月27日(土)～12月16日(日)</p> <p>関連行事 プレイベント「海と船の絵本コンテスト」(仮題) 募集期間4月15日(日)～10月2日(火)、横浜中央図書館読み聞かせボランティアによる「おはなし会」会期中毎週土曜日、絵本作家のスペシャルトーク 11月、フロアガイド 10月～12月</p> <p><u>柳原良平アートミュージアム特集展示(新規)</u></p> <p><u>「アンクルトリス誕生60年」</u></p> <p>会期 平成30年3月27日～7月8日</p> <p><u>「横浜の船と港」(仮称)</u></p> <p>会期 平成30年7月16日～12月24日</p> <p><u>「宝船と七福神」(仮称)</u></p> <p>会期 平成31年1月1日～3月31日</p>
教育普及事業	<p>教育普及ボランティアの協力を得ながら次の事業を実施（登録人数21人）</p> <p>横浜みなとキッズクラブ（小学生高学年向け／年間）</p> <p>みなと博物館や日本丸、内水域、横浜港をフィールドにした体験型活動を同じメンバーで1年を通して行い、身近なところから海と船と港、くらしと環境などに親しみと関心を深める小学生（高学年）向け事業です。ワークシートを使った博物館・日本丸探検や工作教室、横浜港観察会、造船所見学会、シーカヤックなどを7回ほど実施し、活動結果を館内に展示します。</p> <p>キッズのためのクイズラリー（小・中学生向け／年間）</p> <p>高校生以下 100円の土曜日の小・中学生向け事業。展示をよく見て答えるクイズラリーを実施します。</p> <p>楽しい船の折り紙教室（こども向け／年間）</p> <p>サンダー・ペーパークラフト教室（ファミリー向け／年間）</p>

<p>教育普及事業</p>	<p>大人のためのクイズラリー(大人向け/6月、2月) ホリデーペーパークラフト教室(ファミリー向け/年間) ホリデー船の折り紙教室(ファミリー向け/年間) カンタン!船の工作教室(5月3日(祝・水)) なるほど!ミナト散歩ー開港の道コースー(5月12日(土)) ポンポン船をつくる工作教室(7月26日(木)) ソーラーで動く船をつくる工作教室(7月27日(金)) モーターで動く船をつくる工作教室(7月28日(土)、29日(日)) 船と港の夏休み自由研究(8月10日(金)~19日(日)) 親子の海図教室(8月11日(土)) 大人の海図教室(11月17日(土)) 春休み・親子の楽しい船の見学会(3月下旬) みなと博 館長トーク(5、7、9、11、1、3月各第1土曜日) 学芸員のワンポイント展示解説(偶数月各第1土曜日)</p>
<p>調査・研究・収集・出版活動事業</p>	<p>横浜港を中心とした資料調査・収集・研究及び出版 横浜港を中心とした資料の調査、研究、収集、整理、保存を行い、その成果を公開及び展示・教育活動に反映します。また、資料整理のデータベース化を推進します。 出版活動 博物館ニュース・年間行事予定表、企画展に合わせた図録等を出版します。 資料貸出し・レファレンス 資料の貸出・閲覧、写真撮影のほか、レファレンスサービスを行います。また、写真、画像貸し出しについては規定を作成して、有料化を実施します。</p>
<p>ライブラリー事業</p>	<p>横浜港や船、海に関する図書・逐次刊行物等を収集・整理・公開し、小学生から専門家に学習、研究の場を提供します。データベース化(約2万3千冊)の蔵書情報はライブラリー、Webサイトで公開します。 公開日・公開時間 博物館と同様 利用方法(料金等) 博物館の入館者の利用は無料。ライブラリーのための利用は1人100円。 コピーサービス(有料)のほか、レファレンスサービスを行います。 収集・整理 横浜港、港運、海運、船舶、航海等に関する図書、逐次刊行物等を収集・整理して配架します。また、図書のデータベース化を進めるとともに、保守点検を行い、良好な状態を維持します。 その他 小中学生の体験学習の受け入れのほか、アウトリーチ活動として、周辺区の教育事業や団体・企業の研修への出張講義など館外での活動を行います。</p>

(3) みなとの賑わい創出事業	
水辺の事業 シーカヤック教室	<p>水辺の事業の柱として、NPO 横浜シーフレンズと連携した体験教室を開催します。</p> <p>半日体験教室、平日体験教室、子どもシーカヤック教室 リピーター向け中級コース(1日ツーリングコース、レスキュートレーニングコース、横浜港満喫ツーリングコース)</p> <p>横浜青年会議所等の団体や組織と連携した体験教室を開催 大学シーカヤック開催協力(神大・市大・国大)</p>
カヌーポロ教室	<p>NPO法人横浜カヌー倶楽部、横浜カヌー協会と連携しカヌーポロ教室を開催します。</p> <p>子ども向け教室、一般向け教室 第7回帆船日本丸カヌーポロ大会(兼関東ポロリーグ神奈川大会)開催</p>
パーク利用事業	<p>フリーマーケット、吹奏楽演奏会など定期的なイベントを開催します。</p> <p>横浜市のプロモーション事業と連携して音楽イベントや子ども向けダンスイベント、キャラクターイベントなどを積極的に誘致し、開催していただくようにします。</p>

(4) 緑地管理及び研修施設事業	
緑地の維持管理・活用	<p><u>安全管理・美化</u></p> <p>劣化・老朽化している箇所を速やかに補修改善するなど安全安心な施設管理を行います。また、樹木や草花、芝生等を良好に維持管理するとともに、美化清掃を実施し、来園者が安全快適に過ごせる空間を提供します。</p> <p>グリーンボランティアの協力 バタフライガーデン、バッタの原っぱ、グリーンカーテンの取組 みなとみらい21まちかど花壇協力 桜木町駅前美化清掃協力</p> <p><u>撮影</u></p> <p>メモリアルパークが撮影にとっても適した立地であることを積極的にPRし、更なる利用促進を図ります。</p> <p>製作会社や担当者とのコミュニケーションを密にし、撮影や取材のニーズに合った体制を取ります。</p> <p>撮影日時への柔軟な対応、控室の提供、相談・受付体制の充実 新しいWebサイトを活用し撮影履歴等のPR実施</p>
緑地の貸出	<p>受付開始時期を6か月前からに統一し、午前のみ利用料金を新たに設定することで、多様なニーズに対応します。</p>

<p>研修施設（訓練センター）の管理運営（貸会議室）</p>	<p>駅からのアクセスが良い、低廉な利用料金で使いやすいなどの利用者からの評価を活用し、利用促進を図ります。利用者の利便性向上に努め、今まで以上にリピーター利用者の増加を図ります。</p> <p>貸出期間は12月29日～1月3日、1月28日～29日、全館停電日を除く、休館日を含めた年間とします。</p> <p>予約開始日を6か月前からに変更します。</p> <p>Web上での施設予約状況公開の範囲を6か月間にします。</p> <p>施設の使い方を積極的に公開します。</p> <p>什器類の計画的な更新及び環境の整備を行います。</p>
--------------------------------	--

(5) 集客増に向けた重点取組	
<p>団体への取組</p>	<p>横浜市や神奈川県内の小学校の遠足・学校行事誘致のための、タイムリーな情報発信や訪問営業を実施。また、首都圏小・中・高等学校遠足の誘致、全国からの修学旅行誘致のための情報発信の継続、加えて横浜観光コンベンションビューローの教育旅行誘致事業と連携した活動を行います。</p> <p>JTB企画ユニット商品「地恵のたび」参画により全国からお客様誘致を図ります。</p>
<p>広報・宣伝への取組</p>	<p><u>マスコミへの取組</u></p> <p>新聞社、TV・ラジオ局へ積極的に情報発信を行い、掲載率UPの営業活動を実施し、より多くの利用者に施設やイベントの情報を発信します。</p> <p><u>WebサイトとSNSの取組</u></p> <p>WebサイトとSNSの役割分担を行い広報に活用します。Webサイトでは企画展・展覧会、募集型事業、キャンペーン情報など、利用者にとって見やすく分かりやすい情報提供を行います。Facebookでは利用者の分析結果を踏まえ、新鮮な情報を発信します。</p> <p><u>ガイドブック・専門誌及び地域誌への取組</u></p> <p>「るるぶ」「まっぷる」を始めとする旅行雑誌、月間「教育旅行」等への通年の情報提供を行います。また、「ミレア」を始めとする地域誌、「横浜ベイシティ交通マップ」や「MM線沿線マップ」等への広告を通じ情報提供を行います。</p> <p><u>旅行会社への取組</u></p> <p>JTBグループを始めとする旅行会社、JR東日本を始めとする鉄道各社旅行部門へ定期的に情報発信し、個人・団体観光客への情報提供や集客チャネルとして連携強化を図ります。</p> <p>訪日観光客への取組・多言語ガイドシステムのサービス提供を継続します。</p> <p>横浜観光コンベンションビューローと連携し、海外で開催される観光展などで海外メディアへの情報提供を行います。</p>

<p>各種イベントの展開</p>	<p><u>定期的イベント</u> 吹奏楽演奏会 年間14回予定(4月～11月) ファミリー向けを意識したライブステージ</p> <p><u>スポット型イベント</u> ゴールデンウィークイベント(ファミリー向け)音楽、参加体験事業・工作教室 クリスマスイベント(ファミリー向け) 子ども向けワークショップ等 帆船日本丸進水88周年記念イベント(全ての来場者向け)音楽、地域連携型、工作教室</p>
<p>横浜市・近隣施設との連携</p>	<p>西区を始めとした地域の市民活動支援センターの利用団体、子育て支援拠点、老人クラブなどへの施設情報・イベント情報の提供を行い、施設の認知度の向上を図り、また、各区のイベントと連携して来館を促進します。</p> <p>近隣ホテルへの企画展・イベント情報の提供により、観光客(宿泊客)の来館を促進します。</p> <p>(近隣施設連携による相互来館促進)</p> <p>海と山のスタンプラリー 野毛山動物園 横浜乗りものフェスティバル 原鉄道模型博物館・日産グローバル本社ギャラリー・日本郵船歴史博物館・三菱みなとみらい技術館 横浜市交通局等他団体イベントに出展参加し、施設 PR を行います。</p>
<p>海と山と丘の公園交流</p>	<p>日本丸メモリアルパーク(横浜市)、神奈川県立相模原公園(相模原市)、国営アルプスあづみの公園(長野県安曇野市・長野県大町市)の3公園交流</p> <p>サンパチェンス写真コンクール 相模原公園(7月～11月) 相模の大凧展示(1月)</p>